

## ここにご注意！～炭化器を活用した炭づくりの基本～

炭化器を活用した炭づくりに際しては、周囲の生活環境に十分に配慮いただき、製造メーカーの取扱説明書をよくご確認の上、次のステップで行ってください。

<b>STEP1</b> 剪定枝を用意する（事前に準備）	<b>STEP2</b> 炭火器を設置して焚き付けをつくる
<ul style="list-style-type: none"><li>・ほ場などに数か月置いてよく乾燥させた剪定枝(太さ5cm未満、含水率45%未満が理想)を用意する。</li><li>・水分が残っていると燃えにくく燃焼時間も長くなり、煙の発生原因となる。また、生成される炭の量が減少する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・火災の心配のない十分に広い場所、平らな場所に設置する。</li><li>・底部の隙間から空気が入り込まないよう、地面に押し付けるようにねじりながら設置する。</li><li>・焚き付け用の段ボール紙や樹皮を用意する。</li></ul>
<b>STEP3</b> 焚火をつくる	<b>STEP4</b> 剪定枝を投入する①
<ul style="list-style-type: none"><li>・ガスバーナー等で着火し、熾火をつくり、炭化器内の温度を上げる。</li><li>・剪定枝は、最初から炭化器内に設置しない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・熾火ができあがってから剪定枝を少しづつ、空気が通りやすいよう配置しながら投入する</li><li>・一度に多くの剪定枝を投入すると火力が下がり、煙が生じる</li></ul>
<b>STEP5</b> 剪定枝を投入する②	<b>STEP6</b> 剪定枝の投入を終了する
<ul style="list-style-type: none"><li>・火力が上がったら、炭化した剪定枝が器の8分目程度に達するまで連続的に枝を投入する</li><li>・底部の方は酸欠、蒸し焼き状態になり炭化が進む。</li><li>・この状態になると、煙はほとんど生じない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・炭化が進むと火力が下がり、炎が小さくなる。炎が出ている部分は未炭化。</li><li>・適度にかき混ぜ、炎が十分に小さくなったら炭化完了。</li></ul>
<b>STEP7</b> 水をかけて消火する	<p>※生成した炭については、譲渡及び販売は行わず、剪定した果樹の株本に散布するなど自家消費としてご活用ください。</p> <p>【お問い合わせはコチラまで】 960-8601 福島市五老内町3番1号 福島市農政部農業振興課 電話：024-525-7720</p>